

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度河口堰耐震性能照査検討業務
業 務 概 要	設計計画 1式、資料収集整理 1式、耐震性能照査 1式、報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 遠賀川河川事務所長 牟田 弘幸 福岡県直方市溝堀1-1-1
契 約 年 月 日	令和 5年 6月 9日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	20,999,000円(税込み)
予 定 価 格	20,999,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	遠賀川河川事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 6月 10日
履 行 期 間 (至)	令和 5年 12月 28日
備 考	入札情報サービス (P P I) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度河口堰耐震性能照査検討業務
2. 履行場所 遠賀川河川事務所管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名 2-4-12
会社名：株式会社 建設技術研究所 九州支社
電 話：(092) 714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、令和2年の「河川構造物の耐震性能照査指針・解説（IV水門・樋門及び堰編）」改定に伴いレベル2地震動外力が見直された事により、旧基準（平成19年）で照査を実施していた遠賀川河口堰について、改めて新基準により耐震性能の照査検討を行う業務である。

2) 業務の内容

・設計計画	:	1式
・資料収集整理	:	1式
・耐震性能詳細	:	1式
・報告書作成	:	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する2者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の遠賀川の実情を把握した提案にて「劣化対策工事に伴う影響や荷重増加に関する影響」が記載されていること、及び評価テーマの「遠賀川河口堰における耐震性能照査の留意点について」に対する技術提案について与条件との整合性について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

遠賀川河川事務所 管理課長